

教育センターだより

12月

大晦日は、年の終わりの重要な日、新しい年を迎える準備の日



415号 令和6年12月2日発行
砺波市教育センター HPはこちら
〒939-1398 砺波市栄町7番3号
TEL 33-1559 FAX 33-1157
E-mail tonami-ec@tym.ed.jp



子供の「学びたい」を支えるために

2学期の学校訪問研修や幼児教育施設訪問研修、教育長訪問では、先生方が、授業改善や保育の質向上に向けて全員で一丸となって取り組んでおられることを感じました。これは、砺波市の先生方の同僚性の意識が高いからだと考えます。

一つのことをよりよく続けていくためには、ブラッシュアップとアップデートができるチームの体制があること、活動の意図や方向性が共有されていることが影響してきます。

砺波市の子供の「学びたい」気持ちを支えていくために、先生方自身がワクワクして授業や保育に取り組みチームの仲間と子供の成長を喜び合う、困ったときには互いに支え合い協力しようとする、そんな同僚性を引き続き構築していただきたいと思います。

保・認 ミドルリーダー研修会

期日：令和6年10月31日（木）

場所：砺波市役所

他の先生方との連携・協働について協議を行いました。

<感想より>

- ・話し合いを通して共感できることが多くあった。日々の様子を伝え合い、全員で子供たちを見ているという気持ちを大切にしたい。
- ・課題を見付けることができても、具体的な解決方法を打ち出し、実践する部分が弱いと感じた。



中学校3～5年次 若手教員研修会

期日：令和6年11月1日（金）

場所：砺波体育センター

模擬授業を通して、授業の導入のポイントについて協議を行いました。

<感想より>

- ・授業における教師の言葉選び、所作、動き等に無駄がないよう、さらに意識する必要性を感じた。
- ・導入では、本時の課題に対して興味や見通しをもつことができるように、子供から課題を引き出すことに挑戦していきたい。



学校訪問研修・教育長訪問より〔Part2〕

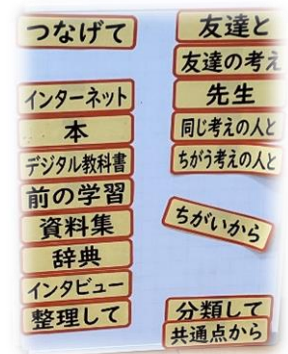
2学期も授業改善に向けて、学校全体で取り組んでおられる様子が、子供たちや先生方の姿から伝わってきました。

○ 学習者主体の授業づくり

- ・導入で既習事項の確認をしたり、子供の振り返りから解決したい課題をみんなで作ったりすることで子供の問題意識を高めている。
- ・「学習課題」「ゴールの姿」「まとめ・振り返り」等を黒板に示し、何を学ぶか子供が意識できるようにしている。

○ 学び合いの充実

- ・タブレット端末を活用して、友達の考えを自由に見ることができるようにし、それを参考に自分の考えをもつことができるようにしている。
- ・子供と学び方を共有したり、最初に単元全体の流れを確認したりして、子供が見通しをもって学習を進めることができるようにしている。(→その授業における学び方のキーワードを子供たちと共有し、活用している学校もありました。)
- ・机間指導を通して教師が見取りを行い、支援が必要な子供へそつと声をかけたり、子供同士の関わりを促したりしている。



○ 安心して学べる環境づくり

- ・安心して学習ができる雰囲気をつくり、グループの中や自分が選んだ相手と自由に話し合えるようにしている。
- ・教師の声が、穏やかでちょうどよい大きさのため、子供の活動を妨げず、落ち着いて学習に取り組める環境となっている。
- ・教師の立ち位置を工夫し、学級の子供全体の学習状況を見渡して、適切な支援を行っている。

お知らせ

- ・砺波市教育センター「ひよどり」では、一人一人の児童生徒や保護者に寄り添った支援を行っています。また、教育センターでは、不登校に関する相談を受けています。必要に応じて、「サポート会議」を実施しています。ひよどりスーパーバイザーの西村優紀美先生をお呼びして、児童生徒面談・保護者面談・ケース会議などを通して、具体的な支援をすることもできます。希望があれば教育センターにお知らせください。